

2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2020年8月7日

上場会社名 塩水港精糖株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2112 URL http://www.ensuiko.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸山 弘行  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 小田 俊一 (TEL) 03-3249-2381  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績 (2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	6,105	△9.5	287	△9.2	417	△3.4	317	△1.8
2020年3月期第1四半期	6,744	△0.8	316	△13.8	432	△25.3	323	△28.7

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 391百万円(132.2%) 2020年3月期第1四半期 168百万円(△57.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	11.71	—
2020年3月期第1四半期	11.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	25,853	9,158	35.4
2020年3月期	24,530	8,903	36.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 9,158百万円 2020年3月期 8,903百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	△2.6	850	△20.6	890	△22.7	620	△20.2	22.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	35,000,000株	2020年3月期	35,000,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	7,890,655株	2020年3月期	7,890,655株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	27,109,345株	2020年3月期1Q	27,109,351株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内外における新型コロナウイルス感染症の影響を受け、外出自粛による消費マインドの低下、インバウンド需要の急減等により極めて厳しい状況にあります。経済活動の低下が、企業収益においても急速な減少がみられる中、感染症拡大防止対策が結果的に内外経済を更に下振れさせるリスクや、金融資本市場の変動等の影響についても、引き続き留意する必要があります。

このような環境の中で、当社及び当社グループはお客様、従業員およびその家族、地域社会、関係取引先の安全と健康を確保することを最優先に、持続可能な生産・供給体制の維持に努めております。生活必需品である砂糖や、オリゴ糖をはじめとした機能性素材を含め、非常時においても安定して消費者の皆様にお届けすることを第一義に、お客様のおなかの健康に貢献する「おなかにやさしい会社」として、砂糖事業及びバイオ事業の計画達成に向けて全力で取り組んでまいりました結果、当第1四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

#### ①砂糖事業

海外原糖市況は、ニューヨーク市場粗糖先物相場（当限、1ポンド当たり）において10.39セントで始まり、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、原油価格の下落に伴うエネルギー価格の低迷により、収穫最盛期を迎える主要生産国のブラジルでは収益性の低下したエタノールから砂糖へ生産シフトの傾向が強まり、4月下旬に2007年6月以来の9.05セントの安値を付けました。6月に入り、株式市場の堅調さから経済回復を期待した動きが強まり、高値12.27セントを付けましたが、その後は複数の統計機関が在庫は豊富であるとの見通しを示したことから、上値が抑えられ、11.84セントで当第1四半期連結累計期間を終了しました。

国内市中価格（日本経済新聞掲載、上白糖大袋1kg当たり）は、期初187円～188円で始まり、同水準のまま当第1四半期連結累計期間を終了しました。

精糖及びその他糖類などの国内販売は、家庭用製品はいわゆる巣ごもり需要の高まりもあって前年同四半期を上回りましたが、一方、業務用製品は外食産業や土産品等向けの販売が低調に推移したため、売上高は前年同四半期を下回りました。

以上の結果、砂糖事業全体の売上高は5,621百万円（前年同四半期比10.6%減）、セグメント利益は463百万円（前年同四半期比10.0%減）となりました。

#### ②バイオ事業

オリゴ糖部門は、新型コロナウイルスの感染予防として、腸内環境を整えることで、免疫力維持向上にもつながる特定保健用食品「オリゴのおかげ」の販売拡大に向けて、各種雑誌向け広告宣伝を積極的に展開しました。消費者の皆様のご健康志向の高まりを追い風に、改めて「オリゴのおかげ」と免疫力との相関性をアピールしました結果、オリゴ糖部門全体では売上高は前年同四半期を上回りました。

サイクロデキストリン部門は、主要ユーザーへの販売が振るわず、また新型コロナウイルスの影響を受ける外食業務用ユーザー向けの販売も低調に推移したことから、売上高は前年同四半期を下回りました。

以上の結果、バイオ事業全体の売上高は486百万円（前年同四半期比6.7%増）、セグメント利益は106百万円（前年同四半期比21.2%増）となりました。

#### ③その他

その他の事業につきましては、ニューE S Rビル事務所の一部賃貸等を行い、所有不動産の活用にも努めました結果、売上高は33百万円（前年同四半期比0.4%増）、セグメント利益は15百万円（前年同四半期比1.2%減）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は6,105百万円（前年同四半期比9.5%減）、営業利益は287百万円（前年同四半期比9.2%減）、経常利益は417百万円（前年同四半期比3.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は317百万円（前年同四半期比1.8%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

### ①資産

流動資産合計は前連結会計年度末に比べて1,321百万円増加し、8,686百万円となりました。これは主に、現金及び預金が667百万円、受取手形及び売掛金が104百万円、商品及び製品が169百万円、原料及び貯蔵品が364百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産合計は前連結会計年度末に比べて1百万円増加し、17,166百万円となりました。これは主に、建物及び構築物が60百万円減少、機械装置及び運搬具が68百万円減少、繰延税金資産が77百万円減少した一方で、建設仮勘定が23百万円増加、投資有価証券が188百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1,322百万円増加し、25,853百万円となりました。

### ②負債

負債合計は前連結会計年度末に比べて1,066百万円増加し、16,694百万円となりました。これは主に、短期借入金金が1,450百万円増加した一方で、長期借入金が430百万円減少したことによるものであります。

### ③純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて255百万円増加し、9,158百万円となりました。これは主に、利益剰余金が181百万円増加、その他有価証券評価差額金が74百万円増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の影響は、国内の緊急事態宣言は解除されたものの、感染再拡大が懸念されるほか、世界的にも依然感染拡大傾向にあり、予断を許さない状況が続くものと予想されます。2020年5月11日付け公表の2021年3月期連結業績予想につきましては、当該感染拡大による業績影響を加味して作成しており、現時点においては、当該業績予想を変更するまでには至っていないと判断しております。

なお、今後の新型コロナウイルス感染症の状況等により事業環境が変化し、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,705	3,372
受取手形及び売掛金	1,602	1,707
商品及び製品	1,007	1,176
仕掛品	245	201
原材料及び貯蔵品	668	1,033
その他	1,135	1,194
流動資産合計	7,365	8,686
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,119	10,120
減価償却累計額	△6,928	△6,990
建物及び構築物(純額)	3,191	3,130
機械装置及び運搬具	11,794	11,807
減価償却累計額	△9,789	△9,870
機械装置及び運搬具(純額)	2,005	1,937
工具、器具及び備品	434	440
減価償却累計額	△363	△369
工具、器具及び備品(純額)	70	71
土地	5,234	5,234
建設仮勘定	17	40
有形固定資産合計	10,519	10,415
無形固定資産		
ソフトウェア	94	85
その他	6	6
無形固定資産合計	100	92
投資その他の資産		
投資有価証券	4,121	4,310
長期貸付金	1,306	1,314
繰延税金資産	1,007	929
その他	109	105
投資その他の資産合計	6,544	6,659
固定資産合計	17,165	17,166
資産合計	24,530	25,853

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	456	717
短期借入金	4,700	6,150
1年内返済予定の長期借入金	1,584	1,720
未払法人税等	158	56
未払消費税等	79	146
賞与引当金	77	39
その他	1,329	1,146
流動負債合計	8,385	9,976
固定負債		
長期借入金	6,356	5,926
退職給付に係る負債	578	544
繰延税金負債	0	0
その他	306	246
固定負債合計	7,241	6,718
負債合計	15,627	16,694
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,750	1,750
資本剰余金	241	241
利益剰余金	11,005	11,187
自己株式	△3,021	△3,021
株主資本合計	9,975	10,157
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,061	△986
繰延ヘッジ損益	0	1
退職給付に係る調整累計額	△11	△13
その他の包括利益累計額合計	△1,072	△998
純資産合計	8,903	9,158
負債純資産合計	24,530	25,853

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	6,744	6,105
売上原価	5,430	4,873
売上総利益	1,313	1,232
販売費及び一般管理費	997	944
営業利益	316	287
営業外収益		
受取利息	6	6
受取配当金	59	59
持分法による投資利益	76	87
その他	2	1
営業外収益合計	143	154
営業外費用		
支払利息	20	21
支払手数料	1	2
その他	6	0
営業外費用合計	28	24
経常利益	432	417
税金等調整前四半期純利益	432	417
法人税、住民税及び事業税	75	56
法人税等調整額	33	43
法人税等合計	109	100
四半期純利益	323	317
親会社株主に帰属する四半期純利益	323	317



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	323	317
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△144	76
繰延ヘッジ損益	△4	1
退職給付に係る調整額	△3	△1
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	△2
その他の包括利益合計	△154	73
四半期包括利益	168	391
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	168	391

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	砂糖事業	バイオ事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,283	432	28	6,744	—	6,744
セグメント間の内部売上 高又は振替高	4	23	5	32	△32	—
計	6,287	455	33	6,777	△32	6,744
セグメント利益	514	87	16	618	△301	316

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	砂糖事業	バイオ事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,617	459	28	6,105	—	6,105
セグメント間の内部売上 高又は振替高	4	26	5	36	△36	—
計	5,621	486	33	6,142	△36	6,105
セグメント利益	463	106	15	585	△297	287

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。